

臨床研究「皮膚疾患画像ナショナルデータベースの構築と AI 活用診療支援システムの開発」について

高知大学附属病院皮膚科では、上に書いた臨床研究をおこなっております。本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究対象、研究期間

2000年1月1日から2018年9月30日までに当院で皮膚疾患の診断や治療を受けた患者さんです。研究機関は、2018年11月1日から2030年12月31日までです。

② 研究の意義・目的・方法

レントゲンの写真やCTの写真を手がけたAIにより自動的に診断するシステムを作ることが進んでおり、近い将来AIにより自動的に読まれることができるようになると考えられています。一方、皮膚科の範囲ではテレダーマトロジーと呼ばれる遠く離れた場所からでも診断ができるシステムが民間の業者によりすでに使用されていますが、これはAIではなく皮膚科の医師が写真や臨床情報をもとに遠く離れた場所から診断をしているため、多くの病気を短い時間に診断することはできません。

AIの開発にはたくさんの皮膚病の写真が必要であることから、今回、日本皮膚科学会が中心となり、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による研究費を活動資金とした皮膚病を集め大きな規模のデータベースを作成する研究を開始しました。筑波大学がその中心の施設となっており研究をおこないます。データベースは臨床写真、ダーモスコピー写真、病理組織の写真、そしてそれらの病気の症状に結び付けられた臨床情報が集められます。

研究の中心となるナショナルデータベースを組み立てるため、高知大学附属病院皮膚科は当科で保管している皮膚病の写真をそのデータベースに役立ててもらうことにしました。データベースには写真とその病気の名前、年齢、性別、診断の理由となった臨床情報、治療の内容、そして病気が進行した結果などの情報が結び付けられたデジタルデータとして保管されます。なお、写真を提供する前に個人を判別できる可能性のある

写真（個人が特定可能な顔全体の写真、他のものと比べて目立つ刺青やはっきり写った指紋など）を区別してのぞきますので、個人の名前などが分かる写真や臨床情報は一切差し出すことはしません。

データベースが完成したらその次の段階として、そのデータベースを使用して皮膚病の写真を使った診断補助システムの開発を行います。なお、データベースとして集まっている情報はすでに個人の情報が取りのぞかれた状態となっておりますので、利用の時にはあなたの個人情報他に漏れる恐れはありません。

③ 研究機関名・研究者名

研究組織は以下の様になっております。

研究代表施設：筑波大学皮膚科・藤本 学

研究参加施設一覧：

1. 浜松医科大学 皮膚科 教授 戸倉 新樹
2. 東北大学 皮膚科 准教授 山崎 研志
3. 東京大学 皮膚科 教授 佐藤 伸一
4. 慶応義塾大学 皮膚科 教授 天谷 雅行
5. 東京女子医科大学 東医療センター 教授 田中 勝
6. 日本医科大学武蔵小杉病院 教授 安齋 眞一
7. 新潟大学 皮膚科 教授 阿部 理一郎
8. 山梨大学 皮膚科 教授 川村 龍吉
9. 信州大学 皮膚科 教授 奥山 隆平
10. 京都大学 皮膚科 教授 椛島 健治
11. 高知大学 皮膚科 教授 佐野 栄紀
12. 九州大学 皮膚科 教授 古江 増隆
13. 熊本大学 皮膚科 教授 尹 浩信
14. 琉球大学 皮膚科 教授 高橋 健造
15. 慶応義塾大学 医療政策・管理学 宮田 裕章
16. 東北大学 東北メディカルメガバンク機構 教授 長崎 正朗

④ 保有する個人情報に関する利用目的

上記の②で説明したとおり、皮膚病の写真データベースを組み立てて作り上げることが第一の目的で、その次に AI 診断システムの開発を行いますが、個人が分かるような

写真や臨床情報は一切使うことはありません。AI 診断システムの開発は③の研究施設の一部で行われ、その際に集めた情報の一部が研究施設にも渡されます。

⑤ 保有する個人情報を明らかにする手続

ご本人の写真が使用されているかどうかについてお知りになりたい場合は下記の連絡先にご連絡ください。なお、すでに写真が加工されて機械学習に使用されるなどした後は特定の写真を削除することが出来なくなりますのでご注意ください。

⑥ 保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先

高知大学附属病院 〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

所属・担当者名：皮膚科 中島喜美子

電話：088-880-2363, FAX:088-880-2364 (平日 10:00-17:00)